

土岐 博也さん追悼特集

追悼の辞

ここに謹んで土岐博也さんの御霊前に申し上げます。

「先生、どうしたんですか？早く起きてくださいよ！」

こんな言葉をかけてしまいたいくらい眠っているようなお姿に對面し、ご逝去されたことは未だに信じがたいことです。

クラブの例会に来ては、松田から来ている私に「齋藤君どうかね？松田は？」と、いつも声をかけてくださいました。いつも後輩を気遣い会話をしてくださる土岐先生に、入会時の新人だった頃とても励まされました。

小田原城北ロータリークラブが1976年4月2日に創立して8ヶ月後に入会され、以後40年近くロータリーライフに専念され、クラブ内ではいろいろな問題に対して潤滑油役として、ご意見番としてご活躍され、会員の中では人望も厚くクラブではなくてはならない存在の土岐先輩が、まさかの突然の訃報に接し言葉もありません。

1978年ロータリー情報委員会委員長から始まり副会長を歴任し、1995年会長を拝命され、歯医者さんという自分が治療にあたらなければならないお仕事であるにもかかわらず、一年間ほとんど毎日のようにロータリーのことを考えなければいけない日々を、会長として一生懸命されていたと先輩諸兄からお聞きしております。頭が良く温厚な振る舞いで人にふれられ、ロータリーライフを送られた先輩、小田原城北ロータリークラブとして、なくてはならない存在をなくした事はとても残念でたまりません。

この訃報に接し、クラブは大黒柱を失った悲しい気持ちでいっぱいです。しかし同時に残された我々は、土岐さんの意思を継ぎ、今後、小田原城北ロータリークラブの発展に、会員一同さらに邁進しなくてはならないと決意を新たにいたしました。

土岐博也先輩、安らかにお眠りください。
心よりご冥福をお祈り申し上げます。

平成26年10月15日
小田原城北ロータリークラブ
会長 齋藤 永

経歴



1936年9月11日生 78才

医療法人社団 土岐歯科医院 理事長

元足柄歯科医師会会長

住所：南足柄市関本561

【ロータリー経歴】

1977年 1月21日 小田原城北ロータリークラブ入会 ※スポンサーは故小林泰二様

第7期（1981～1982） 小田原城北ロータリークラブ 副幹事

第19期（1993～1994） 小田原城北ロータリークラブ 副会長

第21期（1995～1996） 小田原城北ロータリークラブ 会長

□マルチプルフェロー（4回）

□ベネファクター

□米山功労者（5回）

ご本人がスポンサーをなさった会員（現会員のみ掲載）

菊地 義雄会員（1988年2月2日）

志澤 昌彦会員（2006年3月7日）

上田 博和会員（2011年7月1日）

【その他】

2014年度神奈川県民功労者（保健衛生分野）

〈功績の概要〉

長年歯科医療に携わり、住民の健康増進や地域歯科医療の充実に優れた成果をあげ、保健衛生の向上に尽くした。

本人コメント

「歯科医師として『人のためになることをしたい』という思いで取り組んできました。

今後も足柄歯科医師会の活動をサポートしていきたい」

